

5月 はせやまの風

舞鶴市立新舞鶴小学校だより

令和4年4月29日発行

白糸中学校区「目指す子ども像」
自ら学ぶ子・人とつながる子
心も体も鍛える子・ふるさとを愛する子
<http://shinmaizuru.maizuru.ed.jp>



「今日も来てよかった、明日も来よう！」と思える学校に



南舎から見える長谷山の新緑が美しい季節になりました。ツツジの花が満開になり、グラウンドの藤の花も長い房に多くの花をつけています。

先日から急に気温が上がり、半袖のシャツを着た子どもたちが休み時間になると元気に外に飛び出していきます。1年生もずいぶん学校に慣れ、朝、登校をする足取りも力強くなってきました。登校指導をしていると、しっかり顔を見て「おはようございます」と挨拶する1年生がとても多く見られます。高学年も自分から挨拶する子どもたちが少しずつ増えてきています。まだまだ全員とはいきませんが、どの子も挨拶で気持ちのよい1日のスタートが切れるように、声かけをする毎日です。

始業式、入学式で、「やる気 勇気 元気 あふれる笑顔 新舞鶴っ子」になろうと子どもたちに話をしました。始業式は今年度もリモートで行いましたが、画面の向こうに見える子どもたちが熱心に聞く姿から、子どもたちのやる気が感じられました。また、どの学年も学年開きを行い、それぞれの学年目標のもと、身に付けたい力を皆で確かめ、お互いがんばろうと声を合わせていました。

昨年度末に子どもたちにこんな質問を投げかけました。「もし1つだけ願いがかなうなら？」選択肢は4つ。「速く走ることができる」「速く泳ぐことができる」「賢くなる」「力持ちになる」。校内の200人余りの子どもたちが答えた結果は、半分以上が「賢くなる」。次点の「速く走ることができる」が4分の1。やはり、子どもたちは「賢くなりたい」と思っているのです。勉強は好きじゃない、と言っている子どもたちも「賢くなりたい」と思っていることも分かりました。

めまぐるしく変化していく社会の中で、変化を前向きにとらえて主体的に行動し、よりよい社会と幸福な人生を創り出せる人に育てていくために、まずは、教職員全員が子どもたちの思いをしっかり受け止め、「分かった。」「できた。」

「みんなと考えて楽しかった。」と子どもたちと一緒に学ぶ楽しさを感じることで授業をつくっていかねばならないと改めて気持ちを引き締めました。

これからも、新舞鶴小学校の目指す子ども像である「やる気！ 勇気！ 元気！あふれる笑顔 新舞鶴っ子」を育て、子どもたちが「今日も来てよかった、明日も来よう！」と思える学校づくりに努めます。保護者の皆様、地域の皆様には、どうぞ温かく見守っていただきますよう、お願いいたします。

明日から連休が始まります。子どもたちの笑顔のため、3密を避けるなどの新型コロナウイルス感染症拡大防止につながる行動についてのご協力をよろしくお願いします。

校長 小森 昌子



先日、1年生の給食の様子を見に教室に行きました。ほとんどの子が食べ終わるなか、一人の子が、きつと豆腐が苦手なのでしょう。味噌汁の豆腐をじっと見つめています。「嫌いなもの？1個だけ挑戦しようか。」と話しかけ、その場を離れ、違う子の様子を見てみると、そっと寄ってきて「食べた。」と一言。「がんばったね。」勇気を出して嫌いなものに挑戦した子どもとニコッ。子どもって本当に素敵ですね。